

I. King Ching Siu Chuen Company Y2021年

度財務諸表は2022.6.24に提供されました。ii.

3.プロセスの多様化に伴い、2020年初頭には航空宇宙・電子のセミ

昨年末の棚卸時に、当社の在庫と棚卸システムの間に不一致が見つかり、当社の在庫は62,112,263ドル で生産に投入されましたが、棚卸システムには40,583,777ドルのみ計上され、その差額21,528,486ドルは売上原価への過 配分となりました（詳細は下表のとおりです）。この差額\$21,528,486（下表

参照) は、期末在庫金額に対する人件費および経費の過剰計上による売上原価に振り替えられるべきものです。システムによる負荷	自己勘定による負荷	インベントリ記録	労務費・経費のマルチシェアリング エービー
	A	B	
原材料投入生産	40,331,100	20,229,838	20,101,2 6 2
マテリアルイン プット生産	21,781,163	20,353,939	1,427,2 2 4
Y2021入力	62,112,263	40,583,777	21,528,4 8 6

2022年には、業種ごとに異なる材料費・労務費・経費の比率を設定しており、このような在庫の齟齬は生じないものと思われます。

主要4帳票の提供が遅れた理由は、在庫システムと自己勘定計算書の調整表との不一致を発見後、システムベンダーにその解決を依頼し、在庫システムの問題解決後に2021年度の財務諸表監査を開始することで会計士と合意したためである。また、流行の深刻さを受けて、台湾政府は今年の所得税申告の期限を5月末から延長することを決定しました。

現地作業の監査は会計士が行うため、6月末まで遅れ、2022.5.23にようやく監査が開始されました。

このため、会計士が4表を完成させ、当社に提供できるのは2022年6月23日以降となる予定です。

原因を究明し、2022.6.30の月次棚卸を皮切りに、対応策を策定する。

在庫状況がインベントリーシステムと整合していることを確認し、2022.6

より毎月末に前月の自己申告書をコイズミジャパンに提供する。インベン

トリーシステムを定期的に確認し、自己申告書を毎月作成するようにする

ことで、この状況を再発させないようにするため。